

SCOUTING

2021
No.742
3

特集

東日本大震災から10年

改めて振り返る、災害支援と奉仕の精神

mont-bellとの共同ブランド

「SCOUT GEAR」始動!

写真: 宮城・石巻災害ボランティアベースの初桜(2011.4.17撮影)

CONTENTS

02 mont-bellとの共同ブランド「SCOUT GEAR」始動!

06 東日本大震災から10年 改めて振り返る、災害支援と奉仕の精神

09 2021(令和3)年度 全国大会

10 スカウトの成長はあなたの研修から!!

12 ボーイスカウトの地域貢献活動をスカウト募集に結びつける ~「ワクワク自然体験あそび」の実践から見えてきたもの~

16 野外活動のための安心・安全講座 保護者の き・も・ち ~信頼関係を築くために~

17 スカウティングと SDGs —一緒に考えよう! 持続可能な社会のために—

18 ローカルホットライン

20 企業や団体とのタイアップによるコラボレーションバッジ カブスカウト対象“新チャレンジ章”

21 スカウティングと信仰 -コロナ禍における宗教章取得に向けて-

21 信仰奨励

22 維持会員

23 訃報

24 スカウトショップ

mont-bellとの共同ブランド

「SCOUT GEAR

始動!

日本のアウトドアブランドである mont-bell (株式会社モンベル。以下モンベル)とボーイスカウトの共同ブランド「SCOUT GEAR」がいよいよ始動します! 今号ではその皮切りとなる2種のバッグをご紹介します。

スカウト用品

皆さんは、日々の活動の中で、どんなものを使っていますか? ハンドブックやロープ、手旗など活動に必要なものはもちろん、キャンプ用品からチーフリングにいたるまで、さまざまなグッズを使っているかと思います。

その中で、スカウトショップなどで販売しているスカウト用品は、実は機能性や教育的要素、さらに格好良さなど、多くの意味を込めて製作・販売しています。

また、さまざまな大会や記念のグッズは、

その思い出をより強く残し、コレクションしているものは自慢しなくなったり、お気に入りのチーフリングを着けて誇らしく思ったりなど、多くの付加価値をもっています。

スカウト用品の開発にあたっては、使い勝手やデザイン、どのようなものが最適か、そしてスカウトとしての「こだわり」の部分などをスカウト仲間の中で話し合いながら企画しているものや、さまざまなメーカーなどの知識や技能を借りながら企画するものもあります。

発売は
本年4月!

詳しい販売日程は、ホームページや各SNS、Online Scout Shopのメールマガジンなどで随時ご案内していきますので、ご確認ください。



モンベルとの開発の歴史

モンベルとの商品開発は過去にも数回行っており、2000年代には、カブスカウトの舎営などに適した「舎営ザック」や、第21回世界スカウトジャンボリーの派遣団向けのローリングダッフル、そして記憶に新しい第23回世界スカウトジャンボリー（23WSJ）の参加隊用テントなどがあります。

モンベルとのやり取りの中で最も印象に残っているのは23WSJの指導者用テントの開発中の話。テントなどは通常、家族や

かなり親しい人たちで寝ることを想定するそうで、「他人と寝るのはボーイスカウトぐらい」と冗談交じりの会話を交わしながら、インナーテントが2つになっている構造へとまりました。

ご支援いただいているモンベルの辰野勇会長は、アイガー北壁日本人第二登を果たすなど、クライミングや登山、カヌーなどでも数々の伝説を残している方で、現日本連盟評議員でもあります。



23WSJでの指導者向けテント

SCOUT GEAR



mont-bell

「SCOUT GEAR」への道

日々より良い製品の開発や輸入などを検討し、外国連盟と情報交換をする中で、さまざまなアウトドアブランドとコラボし、スカウト向けの商品を開発している連盟も多くあることに気づきます。その中でイタリア連盟の「SCOUT TECH」は、イタリアのアウトドアブランドの「FERRINO」などと共同ブランドを立ち上げ、スカウト向けにさまざまな商品を開発・販売しています。

ボーイスカウト独自では莫大な開発費がかかってしましますが、こうした共同開発では、共同先のブランドのさまざまな技術をお借りしながら、ボーイスカウトならではの要素を複合し、より良い製品が誕生するという利点があり、そうした商品はアウトドアブームの中、ボーイスカウト内だけではなく、多くの人々に響く可能性もあります。

こうした話を2019年2月にモンベルの辰野会長に相談。快く引き受けていただきま

した。ストーリーに重要性を置き開発していく中で、第1弾として、私たちのアイコンックなものでもある「ハバザック」のバージョンアップの話が出ました。モンベルの開発や営業の方の中にはスカウト経験者の人もおり、この「ハバザック」をいかにリニューアルしようかという中で、キーワードは、「長年愛用できる」「耐水性」「制服にあう」「手旗が飛び出ない」など、多岐にわたりました。そうして、実際のサイズや形を検討している時に「単にリニューアルするのではなく、新しいスカウトバッグのスタンダードを作ってはどうか」という方向へ。フィールドはもちろん、タウンユースなど、普段の生活でも使いやすいことなどもコンセプトにプラスし、今回紹介する2種類のバッグとなりました。当初はもう少し早いリリース計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で今年4月の発売となります。

商品の詳細情報は次のページで！ ➡

普段の集会やハイキングなどを想定したバックパックです。トプリッド（雨蓋）は取り外せて、ショルダーポーチとしても利用できます。内部には書籍はもちろん、13インチのノートパソコンが入るポケットがあるほか、側面には大容量のサイドポケット、そして付属のコードでハットや上着などを固定できます。また、サイドポケットの上部にはコンプレッションテープがあり、手旗の固定などにも便利です。

品番 83550
 価格 ¥13,200 (税込)
 容量 本体20L
 トプリッド2L
 重量 605g
 寸法 H60×W30×D20
 背面寸法48cm



共通機能・

徹底した耐水性

今回、機能性で特に重視した機能の1つは「耐水性」。素材はモンベルのこの春からの最新素材「パリストティック® タフコート」を使用。止水ジッパーはもちろん、縫い目のシームテープによって高い耐水性を実現しました。どの天候でも心配なく持っていただけます。

オリジナルカラー「モスグリーン」

色は制服とのコーディネート考えた専用色「モスグリーン」。フィールドでの活動はもちろんのこと、普段の生活の中でも合わせやすく、使いやすい色になっています。

NEW STANDARD “PAC” スカウトギア™ メドーパック22



付属のコードを使ってハットを固定した様子。他にも衣類などはもちろん工夫次第でさまざまな拡張が可能。



トプリッドを外した様子。開口部はロールアップ式で耐水性はもちろん、素早く内部にアクセスが可能。



トプリッド単体も小型のショルダーバッグに。こちらにもロールアップ式を採用。またユリのマークでワンポイント。



内部のポケット。書籍やPC、その他折れ曲がっては困るようなものの収納にとっても便利。



どれだけ入る？

「メドーパック22」の容量は22リットル。左の写真のとおり簡単なハイキング装備はもちろん、夏場の1泊程度なら難なくこなせる個人備品が収納できます。

実際に中に入ったもの／防寒着、ズボン、Tシャツ、靴下、チェア、シュラフ（3シーズン用）、折り畳み傘、雨具上下、手旗、ロープ、プレートコンパス、救急セット、水筒、グローブ、ナイフ、マルチツール、ライト、食器セット、シェラカップ、13インチノートパソコン、タブレット、BS歌集、ハンドブックベアシック、進級手帳、進歩の手引き、ノート、筆記用具

パリストティックタフコート

高強度のパリストティック® ナイロンに特殊な両面コーティングを施した素材です。抜群の強度に加え、耐水性と耐磨耗性の両立を実現しています。光沢を抑えた落ち着いた風合いです。

Ballistic
TOUGH COAT

街も、僕らのフィールドだ

スカウトギア™ メドーショルダー12

高い拡張性

“Function is Beauty (機能美)”と“Light & Fast (軽量と迅速)”というモンベルの開発コンセプトに、ボーイスカウトならではの機能を追加。付属のコードを利用した拡張性や、内部のポケット、手旗も無理なくしまえる大きさなど、かゆいところに手が届く仕様です。

ロールアップ開閉

両商品に採用されているのはロールアップ開閉。最近かなり増えてきている形式で、耐水性も高く、内部へのアクセスも素早くできる高い操作性があります。

普段の集会はもちろん、会議や普段の通学・通勤なども想定したショルダーバッグです。内部には13インチのノートパソコンやA4の書類が入るポケットがあるほか、付属のコードで、ハットや上着などを固定できます。また、ショルダーストラップを付け替えることで、既存のハバザック同様の2WAYを実現。シーンに合わせて、使いやすい形で持つことができます。

品番 83553
 価格 ¥9,350 (税込)
 容量 本体12L
 重量 430g
 寸法 H30×W41×D13cm



ショルダーベルトを付け替えてリュックサック型に。ベルトも幅があり、食い込みにくく、肩への負担を減らす。



こちらも同様に付属のコードを使ってハットを固定した様子。これはボーイスカウトなら憧れの機能。



内部のポケット。A4の書類も楽々収納するほか、小物もバラバラにならないように入れることができる。

※13インチのノートパソコンのサイズは、あくまで一般的なものを参考としており、すべてのノートパソコンには適合していません。あらかじめご了承ください。

※メドーとは、モンベル商品の既存の商品名です。

自分流にアレンジ!

高い耐水性を保つため、縫ってワッペンをつけることは難しいですが、マジックテープ式の両面テープなどを使ってワッペンをつけたり、キーホルダーなども活用して、自分流にアレンジ。他にもどんな工夫ができるか、ぜひ考えてみてください!

「SCOUT GEAR」の今後

現在、モンベルと次の商品開発の調整を開始しており、今後も継続してさまざまな商品を発表していく予定ですので、ぜひご期待ください。

購入先のご案内

これらの商品は、全国のスカウトショップ・販売協力店およびオンラインスカウトショップ、そしてモンベルの各直営店で販売となります。各スカウトショップでのご購入は、各県連盟の財政支援となるほか、モンベル直営店での売り上げに応じて、モンベルクラブ・ファンから日本連盟に寄付していただける仕組みとなっています。ぜひ、スカウト以外の方のご購入もお待ちしています!



東日本大震災から10年

改めて振り返る、 災害支援と奉仕の精神

2011年3月11日14時46分に発生した未曾有の大地震。あれから10年。東日本大震災をはじめとする過去の自然災害時でのスカウトの取り組みを振り返るとともに、これからの未来に向けて、私たちにできることを考えていきましょう。

東日本大震災を振り返る

宮城県牡鹿半島の東南東130km付近を震源としたマグニチュード9.0の地震は、日本国内観測史上最大規模のものでした。この東北地方太平洋沖地震では、本震によって宮城県栗原市で最大震度7が観測されたほか、北海道から九州地方にかけて各地で震度6強から震度1の揺れが観測されました。

その後も多数の余震が観測され、2020年6月に千葉県東方沖で起きたマグニチュー

ド6.1最大震度5弱(千葉県旭市)の地震、同年12月21日に観測した青森県東方沖を震源とするマグニチュード6.5震度5弱(岩手県盛岡市)の地震に対して気象庁が「東北地方太平洋沖地震の余震と考えられる」との見解を示すなど、東北地方太平洋沖地震はこれまでに延べ500回以上の余震が発生しているとされ、10年経った今なお、自然の脅威を感じざるを得ません。

さらに、3月11日の本震から約30分後

には、太平洋岸を中心とした広い範囲に大きな津波が押し寄せ、青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉における浸水面積は約535平方km(JR山手線内側面積の約8.5倍)にまで及びました。

関東では地盤の液状化現象も発生し、マンホールが持ち上がるほどの砂が噴出したり、家屋や電信柱などが倒れたりし、水道、電気、ガスといったライフラインが一時ストップするなどの被害が生じました。

■ ボーイスカウトが展開した支援活動

災害現地ボランティア

日本連盟では、はじめに宮城県塩竈市、その後石巻市に独自の災害ボランティアベースを構え、活動を展開。家屋等の泥出しや側溝掃除、道路清掃等を行いました。また、4月29日から6月12日の間、週末に東京～石巻間でボランティア定期便バスを運行しました（非加盟員8人参加）。

- 塩竈市内にボーイスカウト活動拠点を設置。ボランティア活動開始（3/31～4/10）
- 石巻市に活動拠点を移設し、ボランティア活動継続（4/10～9/11）
- 塩竈市当局の要請により、塩釜湾内の^{ほおしま}の島で支援活動（4/15）
- 延べ参加人数：1,600人
- 支援した家屋等：160件

また、福島連盟が開設したいわき市と相馬市のベースにも、多くのボランティアを派遣しました。

友だちパック

岩手連盟所属スカウトの発案で始まり、全国で展開した「友だちパック」。それぞれが想いを込めて用意した文房具とメッセージカードを入れた袋（パック）を被災地域の子どもたちに届けるこのプロジェクトは、パックの作成や仕分けなど、多くの人が自分のできる形で災害支援に関わる活動となりました。

- 集まったパック総数：1,329個



義援金等の募金

震災直後より、義援金、見舞金、災害支援金等の募金が全国各地から寄せられました。翌2012年1月には、募金等の金額は累計1億5469万3173円となり、その後、現在も継続して、多くの方からご厚志が寄せられています。

- 被災者・被災地への義援金：111,277,255円
- スカウト関係者への見舞金：14,556,644円
- 災害活動支援金：2,913,044円
- その他（寄付金、助成等含む）：25,946,230円
- ※ 2011/3/13～2012/1/17集計

これらは、東日本大震災における災害支援活動の取り組みの一部です。このほかにも全国各地でさまざまな支援活動が展開されました。

スカウトと災害奉仕

これまで、災害発生時等にさまざまな支援活動を行ってきたボーイスカウト。その始まりは、1923（大正12）年に発生した関東大震災です。神奈川県相模湾を震源として発生したマグニチュード7.9の大震災は、190万人が被災し、10万5千人余が死亡あるいは行方不明になったとされる日本災害史上最大のものでした。

このとき、震災救援と復興の責任者となったのが、内務大臣兼帝都復興院総裁であった後藤新平でした。少年団日本連盟初代総裁（のちに総長就任）の後藤の呼びかけもあり、帝都復興奉仕作業には数多くのスカウトたちが加わったのです。

各地のボーイスカウトが支援活動を行った自然災害（一部）

1923（大正12）年	関東大震災
1959（昭和34）年	伊勢湾台風災害
1991（平成3）年	雲仙普賢岳火砕流
1995（平成7）年	阪神・淡路大震災
2004（平成16）年	新潟県中越地震
2011（平成23）年	東日本大震災
2016（平成28）年	熊本地震
2018（平成30）年	西日本豪雨災害

東日本大震災では、震災直後の停電の中、スカウトの制服を着て交差点に立ち、手旗で交通整理を始めたベンチャースカウ



関東大震災復興奉仕（1923年）

トや、避難所生活の中で大人に混ざって清掃や配給の手伝いをするボーイスカウトの姿もありました。自分自身がたとえ困難な状況にあっても、誰かのために自分にできることを当たり前に行う。これは、日ごろからスカウトとしてのつとめを果たすことが自然と身につけていたからこそその行動でしょう。

災害支援は、現地での泥かきや救援物資の整理等を行うなどの直接的な方法もあれば、被災地と離れた場所から募金等を行う方法もあります。どちらも重要な支援です。

募金活動などを行う際には「ボーイスカウトなら信頼して託せる」と声をかけられたことがある方も少なくないのではないのでしょうか。日ごろから活動している様子が見えることで、地域の中にボーイスカウトが広く認知されていれば、いざというときにも信頼して受け入れていただきやすくなります。このような面からも、普段から地域に根差した活動をすることが大変重要です。



防災教育とスカウト活動

東日本大震災を契機に、文部科学省が防災教育・防災管理等の見直しを行い、子どもたちの発達段階や地域の実情に応じた防災教育の目標を定めました。目標には、各段階における【知識、思考・判断】【危険予測、主体的な行動】【社会貢献、支援者の基盤】といったポイントが掲げられています。自然を教場としているスカウト活動では、常に緊張感をもって活動に臨み、いかなる状況でも自らが率先して考え、動けるように日ごろから準備しておくことが重要です。スカウトが活動を通じてさまざまな知識や技能、心構えを身につけられるよう、引き続き支援していきましょう。

■スカウト活動を通じて チャレンジ章「災害救助員」と 技能章「防災章」



カブスカウトはチャレンジ章「災害救助員」、ボーイスカウトとベンチャースカウトは技能章「防災章」の取得を通じて、いざというときに向けた普段の「備え」がいかに重要であるかを学ぶことができます。

特に、2019年に新設した「防災章」は、自然災害の多い日本において、スカウトが自然災害に対する知識を高め、自らの命を守るとともに、地域社会にどのように貢献すべきかを理解し、実践する能力を高めることを目的としています。また、この章に挑戦することによって、将来的に防災関連の資格を取得することにつながる内容になっています。

全国防災キャラバン

東日本大震災から5年の節目を契機に、2016年から、全国のイオンモール等を会場に「全国防災キャラバン」を展開しています。このキャラバンでは、地域の防災意識や子どもたちの「備える力」の向上を目指し、スカウトスキルの体験を通じた「防災教育」を行っています。

これまでに実施した多くの会場では、次世代を担うスカウトたちの活躍によって、地域の子どもたちが楽しみながら防災について学び体験する機会を提供しています。

2020年度は新型コロナウイルスの影響により、各会場での実施はできませんでしたが、2021年度も引き続き地域行政等との連携の輪を広げながら、スカウトによる防災の普及を推進していきましょう。



全国防災キャラバン



終わりに

困難な状況にあるとき、スカウトとして何よりも大事なことは、スカウトとして何ができるかを考え、それを実行に移すことです。活動地域や年代、おかれた状況によってできることは異なりますが、それぞれがスカウトの「ちかい」と「おきて」の実践のもとで「自分にできること」を行うことが、大きな力となります。これは、世界のスカウトが共通して目指すビジョン「Creating a Better World」の一歩です。

昨年来、私たちは新型コロナウイルスという新たな問題に向き合っていますが、地震や水害などの自然災害時と同様に、一人ひとりが意識をもって自分自身にできることを行うことが重要です。自分の身を自分で守ること(=健康であること)は、他の人へ知らぬ間にウイルスを移してしまうことの予防につながります。仲間と大きな声で笑い合ったり、楽しくご飯を食べたりしたい気持ちを抑えて我慢すること、マスクの着用や手洗い消毒を徹底すること、家の中でできることに挑戦することも、スカウトにとって立派な「日々の善行」のひとつです。

そういった自分の行いが社会に対して大きな意味合いをもつことだとスカウトが認識するためには、指導者の支援が重要です。

「奉仕」は感謝されるために行うものではありませんし、誰かに強要されて行うものでもありません。スカウトが自分にできることやすべきことを考え、何のためにそうするかという意識をもって行動できる機会をたくさん作り、当たり前前に社会に「奉仕」できる人をより多く育成していきましょう。

私の防災宣言

私は必ずやってくる災害への準備を始めます。
自らが生き抜き、家族のいのちを助け、そして地域の人々の役に立てるように次のことを宣言します。

- わたしは、自分のいのちを自分でまもります。
- わたしは、家族や友だちのこともかんがえてこうどうできるようにします。
- わたしは、スカウト技能にはげみます。それは災害へのそなえになるからです。
- わたしは、防災訓練や避難訓練、地域の行事に積極的に参加します。
- わたしは、地域の人々と笑顔であいさつをして、こころのつながりをたいせつにします。

2013年全国大会(香川)でのスカウト防災宣言



2021(令和3)年度 全国大会

テーマ：**Creating a Better World** (より良い世界を創ろう)
～活動的で自立した青少年を育てよう!!～

全国大会は、社会への本運動の理解を広めるとともに、加盟員の研鑽の場、本連盟と参加者の双方からの情報交換の場として開催します。

日本連盟および都道府県連盟などの活動報告や展示、年次表彰のほか、参加者が全国の多くの仲間と触れ合うことによって、ボーイスカウト運動に関わっている喜びを実感してその意義を分かち合い、同時に、全国の指導者によるスカウト運動推進に向けた各種研修、情報交換や懇親によって幅広くスカウト関係者からの意見や要望を聞くことで、さらに開かれた教育運動を目指します。

なお、今回の大会は、新型コロナウイルスの影響に鑑み、交歓会および公募によるスカウティングエキスポは実施しないこととします。



ボーイスカウト静岡県連盟より



今年、少年団静岡県連盟が結成されて100周年を迎えます。

この記念すべき年に、全国大会がこの地で開催されることをとても光栄に思います。

静岡県は、これまでに世界ジャンボリー、アジアジャンボリーを含めた5回のジャンボリー、2回のアグーナリーが開催された、ボーイスカウトにはおな

じみのところ です。

日本一高い富士の山、日本一深い駿河湾。気候温暖にして風光明媚な静岡県。その中でも古くから温泉地として名高い熱海市において全国大会が開催されます。

新型コロナウイルスの嵐が早く治まり、多くの皆さまがご参加いただけますようお願いしております。

■ 日程 / 5月29日(土)～30日(日)

■ 場所 / 静岡・熱海市

世界救世教 救世会館
〒413-0006 静岡県熱海市桃山町26-1

世界救世教 瑞雲会館
〒413-0006 静岡県熱海市桃山町27-1

MOA 美術館
〒413-0006 静岡県熱海市桃山町26-2



■ 主催 / 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

■ 開催県連盟 / 日本ボーイスカウト静岡県連盟

■ 後援 / (申請予定) 静岡県、静岡県教育委員会、熱海市、熱海市教育委員会、熱海市観光協会

■ 参加者

1. ボーイスカウト指導者・役職員(隊長、団委員長、地区コミッショナーの参加を期待します)
2. ローバースカウト
3. スカウトの保護者、育成会員、スカウトクラブ会員等
4. 行政関係者

■ 大会参加費 / ¥3,000- (資料および記念品代含む)

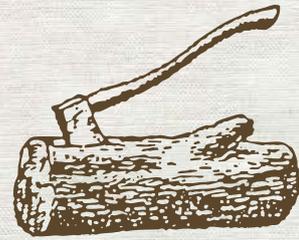
■ 主な日程

- 5月29日(土)
- 12:00～12:45 静岡県連盟創立100周年セレモニー
 - 12:45～13:00 トランペット鼓隊とカラーチームの共演
 - 13:00～15:15 開会式、表彰式等
 - 15:30～17:30 諸会議(県連盟代表者会議、全国県連盟コミッショナー会議、RCJ総会)
- 5月30日(日)
- 9:00～11:30 全国スカウト教育会議(=テーマ集会)

※交歓会および公募によるスカウティングエキスポは実施しません。

新型コロナウイルスの状況により、計画が変更になる場合があります。最新情報は日本連盟ホームページ等で随時お知らせいたします。

スカウトの成長は あなたの研修から!!



世界スカウト機構 (WOSM) が提唱する AIS ポリシー (Adults in Scouting World Policy: スカウト運動における成人に関する世界方針) では、「スカウトの教育、成長のためには成人の関わりが不可欠である」といっています。指導者がスカウトとともに活動をし、さらに研修や研鑽を重ねることで自分自身も成長し続けていくことが、スカウティングの世界共通のポリシーです。

令和3年度の各種指導者訓練コース開設予定 (2021年2月1日時点) を掲載しますので、ぜひ各種訓練にご参加ください。

■ ボーイスカウト講習会

ボーイスカウト講習会は、スカウト活動に関わり始めた方やスカウトから指導者へと進んだ方を対象に各地区 (または県連盟) 主催で開催します。野外での活動やゲームなどを通じて、実際のスカウト活動 (一部) を体験する時間を多く取り入れた内容になっています。スカウトたちのために、仲間とともにボーイスカウト運動に入り口に立ってみませんか。

■ 基礎訓練 (研修所)、上級訓練 (実修所)

隊や団の指導者の方には、活動を進めるためのさまざまな知識や技能、心構えを修得するための研修があります。特に基礎訓練は、隊や団の指導者に必須の研修であり、体験を通

じて楽しい活動やスカウトの成長を促す活動を学びます。また、基礎訓練を修了し、一定の経験を積んだ指導者に向けて、上級訓練を開設しています。スカウトの活動のため、そして自分自身の成長のためにも、上級訓練を目指してスカウトとともに活動していきましょう。

■ ウッドクラフトコース

ボーイスカウト教育を効果的に進めるための場が、野外で行うキャンプです。ウッドクラフトコースは、そのキャンプの醍醐味とスカウト教育の本質を体得していただくための研修です。

通常の研修とは異なり、キャンプ生活を通じて野外でさまざまな活動を行い、プログラム

展開を体験していただけます。隊指導者上級訓練修了者を対象にした5泊6日のキャンプ生活で、スカウト活動の醍醐味であるキャンプの楽しさをスカウトに伝えられるよう、ぜひ研修にご参加ください。

■ コミッショナー研修

コミッショナーは、すべての指導者に支援を行うため、さまざまな研修に取り組みます。社会の変化や実情に合わせた支援を行うため、コミッショナーの訓練を見直しました。令和3年度から新しい訓練として試行します。既存の訓練を修了した方も、ぜひ新しい時代に合わせたコミッショナーの訓練に取り組んでみてはいかがでしょうか。

令和3年度指導者訓練コース開設予定一覧

■ ウッドバッジ研修所

スカウトコース

No	開設県	名称	期数	期間	場所
1	北海道	北海道	第4期	5/2~5/5	旭川地区野営場
2	岩手	東北	第7期	5/1~5/4	岩手県立県南青少年の家
3	福島	東北	第6期	5/2~5/5	つつじが森野営場
4	茨城	茨城	第5期	5/1~5/4	土浦市青少年の家
5	栃木	栃木	第3期	5/2~5/5	栃木県連盟野営場
6	群馬	群馬	第3期	5/1~5/4	赤城少年自然の家
7	千葉	千葉	第10期	5/2~5/5	未定
8		千葉	第11期	9/17~9/20	未定
9		神奈川	第15期	5/2~5/5	富士吉田市立青少年センター
10		神奈川	第16期	8/19~8/22	富士吉田市立青少年センター
11		神奈川	第17期	9/23~9/26	富士吉田市立青少年センター
12		神奈川	第18期	令和4年 3/19~3/22	未定
13		東京	第17期	4/29~5/2	日向野営場
14		東京	第18期	5/3~5/6	日向野営場
15		東京	第19期	9/17~9/20	日向野営場
16		東京	第20期	9/23~9/26	日向野営場
17		東京	第21期	10/8~10/11	日向野営場
18	富山	富山	第3期	9/18~9/21	山川キャンプ場
19	石川	石川	第4期	5/1~5/4	小松市西俣自然教室
20	長野	長野	第3期	5/1~5/4	観石キャンプ場
21	岐阜	岐阜	第5期	5/2~5/5	富加の森野営場
22	静岡	静岡	第9期	5/2~5/5	MOA大仁研修センター
23	静岡	静岡	第10期	9/23~9/26	MOA大仁研修センター
24	愛知	愛知	第16期	9/17~9/20	新城・吉川野営場
25	愛知	愛知	第17期	10/8~10/11	新城・吉川野営場
26	三重	三重	第2期	5/2~5/5	鈴鹿峠自然の家
27	滋賀	滋賀	第3期	9/23~9/26	滋賀連盟浅柄野営場
28	京都	京都	第4期	5/2~5/5	未定
29	兵庫	兵庫	第9期	5/2~5/5	加古川市立少年自然の家
30	兵庫	兵庫	第10期	10/8~10/11	姫路市牧野キャンプ場
31	奈良	奈良	第4期	5/2~5/5	はやまの森野営場
32	和歌山	和歌山	第2期	5/1~5/4	和歌山県立紀北青少年の家
33	大阪	大阪	第11期	4/29~5/2	キャンプおおさか

34	大阪	大阪	第12期	5/2~5/5	キャンプおおさか
35	広島	中国・四国	第5期	5/2~5/5	鷹ノ巣山キャンプ場
36	福岡	九州・沖縄	第15期	5/2~5/5	臨山野営場
37		九州・沖縄	第16期	11/20~11/23	臨山野営場
38	宮崎	九州・沖縄	第17期	11/20~11/23	宮崎連盟野外活動センター
39	沖縄	九州・沖縄	第18期	11/20~11/23	源河野営場

課程別研修

No	開設県	名称	期数	期間	場所
1	北海道	北海道	第3回	9/5	北海道ボーイスカウト会館
2	山形	山形	第1回	11/28	天童市南部公民館
3	茨城	茨城	第5回	6/13	土浦市青少年の家
4	栃木	栃木	第3回	7/11	栃木県立美術館アートラウンジA
5	群馬	群馬	第4回	6/20	群馬県青少年会館
6		埼玉	第4回	10/17	未定
7		埼玉	第5回	令和4年 3/13	未定
8		千葉	第8回	6/27	未定
9		千葉	第9回	11/14	未定
10		神奈川	第15回	5/23	神奈川スカウト会館
11		神奈川	第16回	8/29	神奈川スカウト会館
12		神奈川	第17回	10/24	神奈川スカウト会館
13		神奈川	第18回	令和4年 3/27	神奈川スカウト会館
14		東京	第9回	6/6	国立オリンピック記念青少年総合センター
15		東京	第10回	10/24	国立オリンピック記念青少年総合センター
16	富山	富山	第1回	11/28	呉羽青少年自然の家
17	福井	福井	第2回	令和4年 3/13	福井県生活学習館
18	長野	長野	第5回	6/20	未定
19	岐阜	岐阜	第5回	5/23	各務原勤労会館
20	静岡	静岡	第9回	5/23	静岡県青少年会館
21	静岡	静岡	第10回	10/17	静岡県青少年会館
22	愛知	愛知	第11回	10/31	未定
23	兵庫	兵庫	第3回	11/7	神戸国際大学附属高等学校
24	大阪	大阪	第5回	5/16	大阪スカウト会館
25	広島	広島	第3回	5/22	カトリック観音町教会
26	山口	山口	第2回	6/27	秋穂地域交流センター
27	愛媛	愛媛	第3回	6/27	愛媛県生涯学習センター

28	福岡	福岡	第7回	5/15	そびあしんぐ
29	福岡	福岡	第8回	12/4	そびあしんぐ
30	熊本	熊本	第1回	12/19	熊本市託麻公民館
31	大分	大分	第2回	11/28	未定
32	沖縄	沖縄	第3回	12/19	沖縄県連盟事務局
1	北海道	北海道	第4回	7/18	北海道ボーイスカウト会館
2	茨城	茨城	第5回	6/13	土浦市青少年の家
3	群馬	群馬	第4回	6/20	群馬県青少年会館
4	埼玉	埼玉	第4回	10/17	未定
5	埼玉	埼玉	第5回	令和4年 3/13	未定
6	千葉	千葉	第8回	6/27	未定
7	千葉	千葉	第9回	11/14	未定
8	神奈川	神奈川	第15回	5/23	神奈川スカウト会館
9		神奈川	第16回	8/29	神奈川スカウト会館
10		神奈川	第17回	10/24	神奈川スカウト会館
11		神奈川	第18回	令和4年 3/27	神奈川スカウト会館
12	東京	東京	第9回	6/6	国立オリンピック記念青少年総合センター
13	東京	東京	第10回	10/24	国立オリンピック記念青少年総合センター
14	富山	富山	第3回	11/28	呉羽青少年自然の家
15	石川	石川	第2回	6/13	野々市市富奥コミュニティセンター
16	福井	福井	第2回	令和4年 3/13	福井県生活学習館
17	長野	長野	第4回	6/27	未定
18	岐阜	岐阜	第5回	5/23	各務原勤労会館
19	静岡	静岡	第9回	5/23	静岡県青少年会館
20	静岡	静岡	第10回	10/17	静岡県青少年会館
21	愛知	愛知	第12回	10/31	未定
22	三重	三重	第2回	6/19	鈴鹿第1回ハウス
23	京都	京都	第4回	6/27	京都テルサ
24	奈良	奈良	第3回	10/3	大和郡山市立三の丸会館
25	和歌山	和歌山	第2回	6/20	和歌山市河南コミュニティセンター
26	大阪	大阪	第7回	5/23	大阪スカウト会館
27	広島	広島	第3回	5/23	カトリック観音町教会
28	香川	香川	第1回	6/6	香川県青年センター
29	愛媛	愛媛	第1回	6/13	愛媛県生涯学習センター
30	福岡	福岡	第7回	5/16	そびあしんぐ
31	福岡	福岡	第8回	12/5	そびあしんぐ
32	長崎	長崎	第1回	12/11	大村市中央公民館
33	熊本	熊本	第1回	12/5	熊本市花園公民館
34	宮崎	宮崎	第2回	12/19	宮崎連盟野外活動センター
35	沖縄	沖縄	第3回	1/23	沖縄県連盟事務局
1	北海道	北海道	第4回	9/5	北海道ボーイスカウト会館
2	福島	福島	第1回	6/6	国立磐梯青少年交流の家
3	茨城	茨城	第5回	6/13	土浦市青少年の家
4	群馬	群馬	第4回	10/17	高崎市民活動センターソシアス
5	埼玉	埼玉	第4回	10/17	未定
6	埼玉	埼玉	第5回	令和4年 3/13	未定
7	千葉	千葉	第8回	6/27	未定
8	千葉	千葉	第9回	11/14	未定
9	神奈川	神奈川	第15回	5/23	神奈川スカウト会館
10		神奈川	第16回	8/29	神奈川スカウト会館
11		神奈川	第17回	10/24	神奈川スカウト会館
12		神奈川	第18回	令和4年 3/27	神奈川スカウト会館
13	東京	東京	第9回	6/13	国立オリンピック記念青少年総合センター
14	東京	東京	第10回	10/31	国立オリンピック記念青少年総合センター
15	福井	福井	第2回	令和4年 3/13	福井県生活学習館
16	長野	長野	第3回	6/20	未定
17	岐阜	岐阜	第5回	5/23	那加福祉センター
18	静岡	静岡	第9回	5/23	静岡県青少年会館
19	静岡	静岡	第10回	10/17	静岡県青少年会館
20	愛知	愛知	第13回	10/31	未定
21	三重	三重	第4回	6/26	三重県総合文化センター
22	滋賀	滋賀	第3回	6/20	草津市市民総合交流センター
23	京都	京都	第2回	10/24	京都テルサ
24	兵庫	兵庫	第5回	6/6	こうべ市民福祉交流センター
25	和歌山	和歌山	第2回	10/31	和歌山市河南コミュニティセンター
26	大阪	大阪	第5回	10/3	大阪スカウト会館
27	広島	広島	第4回	5/29	カトリック観音町教会
28	山口	山口	第4回	6/27	秋穂地域交流センター
29	香川	香川	第1回	6/13	香川県青年センター
30	愛媛	愛媛	第2回	6/20	愛媛県生涯学習センター
31	福岡	福岡	第7回	5/15	そびあしんぐ
32	福岡	福岡	第8回	12/4	そびあしんぐ
33	長崎	長崎	第1回	12/12	大村市中央公民館
34	沖縄	沖縄	第3回	令和4年 2/27	沖縄県連盟事務局
1	北海道	北海道	第4回	7/18	北海道ボーイスカウト会館
2	茨城	茨城	第5回	6/13	土浦市青少年の家
3	栃木	栃木	第3回	9/12	栃木県立美術館アートラウンジA
4	群馬	群馬	第3回	10/17	高崎市民活動センターソシアス
5	埼玉	埼玉	第4回	10/17	未定
6	埼玉	埼玉	第5回	令和4年 3/13	未定
7	千葉	千葉	第8回	6/27	未定
8	千葉	千葉	第9回	11/14	未定
9	神奈川	神奈川	第15回	5/23	神奈川スカウト会館
10		神奈川	第16回	8/29	神奈川スカウト会館
11		神奈川	第17回	10/24	神奈川スカウト会館
12		神奈川	第18回	令和4年 3/27	神奈川スカウト会館
13	東京	東京	第9回	6/13	国立オリンピック記念青少年総合センター
14	東京	東京	第10回	10/31	国立オリンピック記念青少年総合センター

15	福井	福井	第2回	令和4年 3/27	福井県生活学習館
16	長野	長野	第4回	6/27	未定
17	岐阜	岐阜	第4回	5/23	那加福祉センター
18	静岡	静岡	第8回	5/23	静岡県青少年会館
19	静岡	静岡	第9回	10/17	静岡県青少年会館
20	愛知	愛知	第11回	10/31	未定
21	滋賀	滋賀	第2回	10/31	大津市ふれあいプラザ
22	奈良	奈良	第2回	6/6	大和郡山市立三の丸会館
23	大阪	大阪	第5回	10/24	大阪スカウト会館
24	広島	広島	第3回	5/30	カトリック観音町教会
25	福岡	福岡	第7回	5/16	そびあしんぐ
26	福岡	福岡	第8回	12/5	そびあしんぐ
27	沖縄	沖縄	第3回	令和4年 3/13	沖縄県連盟事務局

スカウトコース+ 課程別研修(一括開設型)

No	開設県	名称	期数	期間	場所
1	埼玉	埼玉	第9期	4/29~5/2	那須野営場
2	埼玉	埼玉	第10期	9/18~9/21	那須野営場
3	愛知	愛知	第15期	5/2~5/5	新城・吉川野営場

団委員研修所

No	開設県	名称	期数	期間	場所
1	群馬	関東	第24期	11/26~11/28	群馬県青少年会館
2	千葉	千葉	第31期	10/8~10/10	未定
3	神奈川	神奈川	第36期	5/2~5/4	川崎市青少年の家
4	東京	東京	第34期	5/3~5/5	国立オリンピック記念青少年総合センター
5	長野	長野	第30回	10/9~10/11	安藤百福センター
6	静岡	静岡	第29期	5/2~5/4	静岡県立焼津少年の家
7	愛知	愛知	第42期	10/9~10/11	未定
8	兵庫	兵庫	第29期	11/21~11/23	未定
9	大阪	大阪	第7期	7/17~7/19	未定
10	香川	中国・四国	第16回	9/18~9/20	香川県青年センター

コミッショナー研修 ベーシックトレーニング(試行)

No	開設県	名称	期数	期間	場所
1	宮城	東北	第1期	9/23~9/26	松島自然の家
2	茨城	茨城	第1期	9/23~9/26	土浦市青少年の家
3	千葉	千葉	第1期	7/22~7/25	那須野営場
4	神奈川	神奈川	第1期	9/18~9/21	富士吉田市立青少年センター
5	新潟	新潟	第1期	9/23~9/26	五頭連峰少年自然の家
6	愛知	愛知	第1期	9/23~9/26	新城・吉川野営場
7	滋賀	滋賀	第1期	11/20~11/23	ノートルダム学院小学校山の家
8	福岡	九州・沖縄	第1期	10/8~10/11	脇山野営場

コミッショナー研修 任務別研修 地区コミッショナー課程(試行)

No	開設県	名称	期数	期間	場所
1	宮城	東北	第1期	10/9~10/10	未定
2	茨城	茨城	第1期	12/4~12/5	土浦市青少年の家
3	千葉	千葉	第1期	10/9~10/10	千葉県内
4	神奈川	神奈川	第1期	12/11~12/12	神奈川スカウト会館
5	新潟	新潟	第1期	11/20~11/21	長岡市四郎丸コミュニティセンター
6	愛知	愛知	第1期	10/23~10/24	新城・吉川野営場
7	滋賀	滋賀	第1期	令和4年 2/12~2/13	ノートルダム学院小学校山の家
8	福岡	九州・沖縄	第1期	10/30~10/31	脇山野営場

隊指導者上級訓練(ウッドバッジ実修所)

No	課程	期数	期間	場所
1	BVS	第45期	10/8~10/11	那須野営場(栃木県那須塩原市)
2	CS	第172期	7/22~7/25	新城・吉川野営場(愛知県新城市)
3		第173期	7/22~7/25	和歌山市立青少年国際交流センター(和歌山県和歌山市)
4	BS	第174期	10/31~11/3	脇山野営場(福岡県福岡市)
5		第202期	5/1~5/5	那須野営場(栃木県那須塩原市)
6		第203期	9/18~9/22	那須野営場(栃木県那須塩原市)
7	VS	第32期	5/1~5/5	高萩スカウトフィールド(茨城県高萩市)

団指導者上級訓練(団委員実修所)

No	期数	期間	場所
1	第29期	5/2~5/4	五頭連峰少年自然の家(新潟県阿賀野市)
2	第30期	7/9~7/11	川崎市青少年の家(神奈川県川崎市)

ウッドクラフトコース

No	期数	期間	場所
1	第2期	4/29~5/4	新城・吉川野営場(愛知県新城市)
2	第3期	9/18~9/23	キャンプおおさか(大阪府枚方市)
3	第4期	9/18~9/23	脇山野営場(福岡県福岡市)

副リーダートレーナーコース

No	期数	期間	場所
1	第65期	6/9~6/13	那須野営場(栃木県那須塩原市)

リーダートレーナーコース

No	期数	期間	場所
1	第40期	6/23~6/27	高萩スカウトフィールド(茨城県高萩市)

※ AIS ポリシーおよび各訓練の流れについては、本誌2019年11月号(No.734)をご参照ください。

※ 各コース開設予定の最新情報は、ホームページでご確認いただけます。

https://www.scout.or.jp/member/establishment_schedule2021/



ボーイスカウトの地域貢献活動を スカウト募集に結びつける

～「ワクワク自然体験あそび」の実践から見てきたもの～

本誌2020年9月号(No.739)、11月号(No.740)でもご紹介した「ボーイスカウトとあそぼう! ワクワク自然体験あそび」事業(以下、自然体験あそび事業)が、新型コロナウイルスの秋から冬にかけての感染拡大の影響を受けながらも、全国各地で実施されました。今号では、本事業の実践から、私たちが地域に貢献できること、そこからスカウト募集にどう活かすかといったポイントをご紹介します。

開催予定と実績

全国373会場で累計9,040人が参加しました(2021年1月21日時点)。

■ 2020年10月～2021年3月の開催予定

県連盟	予定数	県連盟	予定数
北海道	0	滋賀	15
青森	3	京都	28
岩手	6	兵庫	65
宮城	11	奈良	22
秋田	3	和歌山	7
山形	4	大阪	70
福島	14	鳥取	6
茨城	20	島根	8
栃木	14	岡山	9
群馬	13	広島	12
埼玉	56	山口	0
千葉	68	徳島	7
神奈川	59	香川	6
山梨	3	愛媛	11
東京	72	高知	1
新潟	11	福岡	24
富山	1	佐賀	3
石川	8	長崎	1
福井	6	熊本	13
長野	15	大分	4
岐阜	12	宮崎	7
静岡	59	鹿児島	9
愛知	51	沖縄	6
三重	5	合計	848

※中止事業も含む

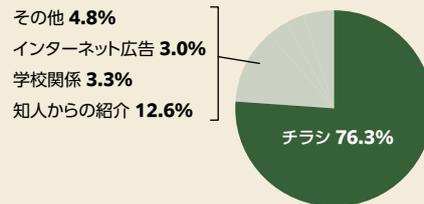
■ 2020年10月～12月の開催実績

県連盟	回数	参加者数	県連盟	回数	参加者数
北海道	0	0	滋賀	11	158
青森	1	19	京都	16	319
岩手	1	11	兵庫	25	567
宮城	7	193	奈良	11	265
秋田	1	11	和歌山	1	1
山形	0	0	大阪	21	302
福島	12	352	鳥取	1	30
茨城	9	203	島根	4	47
栃木	5	128	岡山	6	152
群馬	8	293	広島	4	120
埼玉	21	502	山口	0	0
千葉	33	781	徳島	2	39
神奈川	30	1143	香川	1	6
山梨	0	0	愛媛	6	149
東京	20	469	高知	0	0
新潟	5	54	福岡	12	315
富山	0	0	佐賀	1	22
石川	8	392	長崎	0	0
福井	4	144	熊本	1	5
長野	7	105	大分	4	99
岐阜	5	127	宮崎	1	28
静岡	26	587	鹿児島	1	35
愛知	36	719	沖縄	3	111
三重	2	37	合計	373回	9,040人

(1月21日現在)

参加者の事前アンケートから 見てきたこと

① この自然体験活動を何で知りましたか？



チラシから情報を得た方が圧倒的でした。これは、本事業が文部科学省の委託事業であることから、学校等を通じてチラシを配付できたことが大きかったと思われます。

今回培ったネットワークを来年度以降にも活用するためには、チラシの配付にご協力いただいた学校等にお礼を兼ねて事業の実施報告をすることが大切です。

② 自由記述欄から この事業に保護者が望むもの

- 感謝の気持ちを身につけてほしいと思っていました。今回、チラシを見て「これだ!」と思いました。
- 諦めない心、仲間とやり遂げる達成感を味わえる体験ができればと思っています。
- ひとりっ子なので、家族以外と関わる機会をできるだけ多くもてらいたいなと思っております。
- なかなかできない経験なので、自然の中で他の子どもたちと遊びを楽しんでほしい。

保護者のニーズが分かれば、それをプログラムに反映させ、チラシのキーワードとして使うなどの工夫ができます。子どもはもちろんのこと、保護者も訴求ターゲットである意識することが大切です。

また、「自然」は保護者にとって訴求力の高い言葉であるといえます。プログラム名やチラシの写真などから「自然」を想起させることが効果的です。

もともとボーイスカウトに 興味があった保護者

- ボーイスカウトの活動に興味があるので、お話を聞きたいです。
- 以前から、ボーイスカウトに参加させたいと思っていましたが、習い事を整理できずに、きっかけを探していました。

多くの団が学校等を通じてチラシを配付できたことから、より多くの家庭に案内を届けることができたと考えられます。その結果として、「ボーイスカウトに興味はあるが、自ら積極的に情報を得ようとはまではしない」潜在的な需要層を掘り起こし、体験活動への参加に誘導することができたと考えられます。体験活動の場では、スカウティングの理念等とともに、自隊の活動予定を説明することが大切です。

今回のような自然体験活動を 望む保護者

- 今後、自宅近くで今回のような行事があるときは、何らかの形で連絡がほしいです。
- 季節ごとにイベントがあると、気軽に参加しやすいです。
- この度は、素敵な機会をいただき、嬉しく思います。

自然体験活動こそが私たちにできる地域貢献と考え、このような活動を定期的に行うことも大切です。団委員会の任務には、「本運動の主旨の普及に努めること」があります。

この事前アンケートでは、「あなたがお住まいの街で、ボーイスカウト(の活動)を見かけたことがありますか?」という質問がありますが、実に59.50%の方が「見かけたことがない」と答えています。このような状況では、まず、地域の方に「私たちの街にもボーイスカウトがある」と認識してもらうことが重要です。地域にスカウティングを広く普及することが、加盟員を増やす第一歩になります。

取り組み事例から考える、体験活動のポイント

これまでに実施した各地の取り組みの中から、2つの体験活動の実施事例をご紹介します。それぞれの体験活動におけるポイントをまとめましたので、今回の自然体験あそび事業だけでなく、普段のスカウト募集体験会などを行う際にも、ぜひ参考にしてください。

事例1

愛媛県連盟 西条地区



西日本最高峰の石鎚山いしづちさんの麓に広がる愛媛県西条市で開催した「親子で楽しむアウトドア体験」は、西条地区の多くのスカウトと保護者、指導者、地区役員が体験活動のスタッフとして関わっていました。早朝からの準備や運営にもかかわらず、誰もが最後までイキイキと楽しそうに動き回っている姿に、「体験活動の印象はスタッフ一人ひとりが作っている」と強く感じる活動でした。この活動からは、企業との連携やスカウト中心の運営などをご紹介します。

活動名：親子で楽しむアウトドア体験（1日型）
実施日：令和2年11月22日、12月6日、12月13日
会場：アウトドアオアシス石鎚
株式会社モンベル（以下、モンベル）が運営する西条市のアウトドア拠点施設

Point

1

地域資源の有効活用①

“会場の立地と交通利便性”

会場であるアウトドアオアシス石鎚は、松山自動車道のサービスエリアに隣接するハイウェイオアシスにあり、市街地を見渡せる自然豊かな丘陵地でありながら、高速道路からも一般道からもアクセス可能な交通利便性を兼ね備えています。さらに交通利便性に加え、駐車場の広さ、活動の安全性、周辺の環境、場所の知名度など、「集客」を意識した会場の選定がなされていました。

Point

2

地域資源の有効活用②

“企業とのタイアップ”

アウトドアオアシス石鎚は、モンベルが指定管理者として運営している西条市のアウトドア拠点施設です。ここを会場にすることで、活動計画の段階からモンベルと話し合いを重ね、実施プログラムにボルダリング体験施設を活用することやモンベル社員によるテントの組み立て体験コーナーを設置するなど、「社会連携」を意識した企業タイアップが積極的に行われていました。



Point

3

スカウトを中心にした運営

司会進行や受付、グループのリーダーといった参加者から見える主な役割は、ローバースカウトを中心にベンチャースカウト、ボーイスカウトが担当し、成人指導者は裏方に徹する運営が行われていました。

開会セレモニーでは、リーダー役のローバースカウトが着ぐるみで登場するなど、参加者の緊張感を和らげ、プログラムへの導入が円滑に行われるように工夫されていました。また、閉会セレモニーでは、参加者と活動をとにしたローバースカウトが自らのスカウティング経験を話す時間を設けるなど、スカウティングの魅力をスカウト自身の言葉で伝えるといった保護者を意識した工夫もあり、保護者の視点に立った「見せ方」を意識した運営になっていました。

Point

4

新型コロナウイルス感染症対策

1回の参加定員を抑制したうえで、2020年11月から12月までの間に、同じ内容の体験活動を計3回実施。参加者を各日それぞれ2～3グループに分け、グループがそれぞれ異なるプログラムに挑戦してまわることで、人を分散して密を避けるという感染予防策をとりつつ、参加人数を確保するという工夫が見られました。

また、当日の受付においても、「手続き ⇨ 健康観察 ⇨ 物品の受け渡し」等の一連の受付業務をワンストップ方式で行うなど、他の参加者との接触機会を最小限に抑える「安全・安心」を意識した感染対策が随所に取り入れられていました。

事例2

岡山連盟
西大寺第1団



穏やかな冬晴れの下、岡山市の操山公園^{みさおやま}里山センターで開催された西大寺第1団による「親子でハイキング」。年代ごとに分かれて行う体験プログラムや、子どもと同じプログラムを保護者にも提供するという工夫などをご紹介します。

活動名：親子でハイキング（半日型）
実施日：令和2年12月6日
会場：操山公園里山センター

Point 5 時間の有効活用と親しみやすいセレモニー

受付開始前から、指導者とスカウトがゲームをして楽しい雰囲気を作り、参加者を迎えていました。受付後からセレモニーまでの間は、何もしないただの待ち時間になっているケースをよく目にしますが、ここでは、受付後に参加者がゲームに加わることで、飽きさせない工夫がされています。

また、セレモニーはローパスカウトの進行のもと、国旗儀礼やソングは行わず、親しみやすい雰囲気参加者を緊張させない配慮がなされていました。

Point 6 ビーバー、カブ年代に分かれて活動

体験活動では、年代を問わず、同じプログラムを提供している団が多い中、西大寺第1団では、部門別にプログラムを用意していました。

ビーバー部門は、広場で隊指導者が山をモチーフにした絵本の読み聞かせを行った後、操山へ。ゲームや自然観察、木の枝や葉っぱなどを拾ったりしながらハイキングを楽しむプログラムでした。その後、集めた自然物を使って「どんぐり迷路」を作り、体験活動のお土産にする工夫がみられました。これは、帰宅後でも体験活動が必然的に親子間の話題となるという点において、効果的な手法といえます。

カブ部門では、スカウトの組に参加者が加わり、操山にハイキングへ。テーマは「観察」です。人工物キムスに挑戦したり、鳥の声や自然の音に耳を澄ませたりしながら進みました。途中のバードコール作りでボーイ隊のスカウトが本結び等を教えたり、カブスカウトと参加者が協力して暗号を解読したりと、スカウトと参加者がコミュニケーションをとる場面を意識的に数多く用意していました。これは、参加者が「また、参加してみたい!」と思う1つの大きな要素になります。

Point 7 保護者にも子どもと同じ体験活動を提供

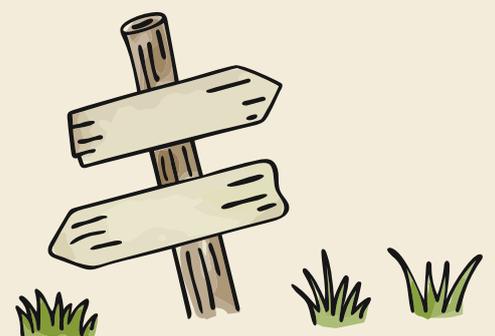
保護者だけのグループを作り、保護者にも子どもたちと同じ体験を提供していました。ハイキングの間には、隊指導者が「キムスゲーム」のねらいを説明するなど、「ミニボーイスカウト説明会」にもなっていました。これは、保護者にスカウティングの魅力を伝える効果的な手法といえます。

また、この保護者グループが自身の子どもが参加している組のすぐ後ろを歩くことで、子どもには自分の親の姿を近くに感じられる距離で安心感があり、保護者には自身の子どもの活動する姿が見られるようになっているため、両者に配慮した手法になっています。

Point 8 入団に結びつけるために大切なアフターフォロー

体験活動の終了後、体験活動を評価・改善するために感想などを聞く「保護者アンケート」を実施していました。参加した保護者の生の声を聞くことは、さらに体験活動を良くするために欠かすことのできないものです。

このアンケートには「今後、活動の案内を希望しますか」という項目もあり、希望者には引き続き案内できるように布石を打つなどの工夫もみられました。



団支援・組織拡充委員会が考えるポイント

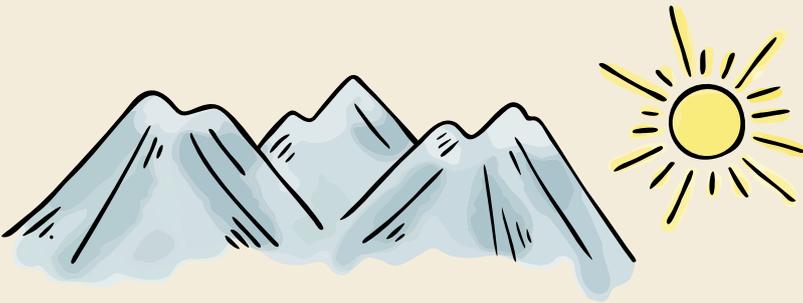
ここまで、2つの活動事例から8つのポイントをご紹介してきましたが、団支援・組織拡充委員会が考えるポイントをさらに3つご紹介します。

Point 9 「スカウト運動普及のため」にするか、「新規加盟員獲得のため」にするか

よく「体験活動を実施したが、入団に結びつかない」という声を聞きます。繰り返しになりますが、地域にスカウティングを広く普及することこそが、加盟員を増やす第一歩になります。「私たちの街にもボーイスカウトがある」と地域の方に知っていただくためには、地域のイベントを活用するなどして、できるだけ多くの子どもを集め、楽しんでもらうことが重要だと思われます。

一方で、新規加盟員を獲得しようとするとき、スカウティングの素晴らしさや教育的意義を参加者（特にその保護者）に理解してもらうことが大切です。そのためには特別なことをする必要はなく、普段の隊集会どおりのことをする方が、スカウティングの魅力を伝えることができるはずです。

実際には、この2つのバランスが大切になってきますが、同じ体験活動を実施するにあたって、どちらに軸足を置くかを最初にしっかりと検討しておく必要があります。



Point 10 「スカウト運動普及のため」に本事業を実施する場合の留意点

「スカウト運動普及のため」の自然体験あそび事業であっても、可能な限りスカウティングの特色を活かしたいものです。例えば、プログラムの参加は親子よりも子どもだけの小グループ、活動内容はひとり遊びのゲームよりもみんなで力を合わせて取り組むゲームの方が望ましいと思います。また、参加者とスカウトがコミュニケーションをとれる状況を作ることも必要です。

ただし、参加者の中にはさまざまな個性をもった子どもがいるので、個々の特性に応じた配慮が必要になることはいうまでもありません。

Point 11 1つの学校等に対して個別に複数の団がチラシの配付を依頼しない

今回の自然体験あそび事業では、原則として、日本連盟提供の共通フォームを利用してチラシを作成していただきました。これは、「ボーイスカウト」のブランディング効果をねらったものですが、複数団からチラシの配付を依頼される学校等の立場からすると、「ボーイスカウトがほとんど同じチラシの配付を何度も依頼してきた」という印象をもち、不信感を抱きかねません。そこで、配付先が同じ学校等になりそうな団と実施日を近接した時期にするなどの調整をし、チラシを1枚に集約するなどの工夫も必要です。

あわせて、学校等の負担を軽減するために、チラシはクラスごとに束ねておくなどの配慮も必要になります。

2021年度の自然体験あそび事業

2020年度の自然体験あそび事業は、文部科学省からの委託事業として、必要経費の全額を国庫委託金で執行しました。文部科学省からはまったく同じメニューは示されていないので、2021年度に今年度と同程度の規模で本事業を行うことは難しいと考えています。

しかし、団にとっては事務の軽減になること、参加する保護者からは一目でボーイスカウトが全国規模の団体と分かり、安心感を得られることなどのメリットがあることなどから、体験活動の参加申し込みサイト（QRコードを用いたの申し込みなど）については、2021年度も日本連盟の経費で継続したいと考えています。

団支援・組織拡充委員会では、全国の皆さんとの協働により、スカウト運動の普及と新規加盟員獲得に取り組んでいきますので、引き続きご協力をお願いいたします。



団支援・組織拡充委員会

■ 野外活動のための安心・安全講座

保護者の き・も・ち ～信頼関係を築くために～

今号では、視点を変えて、スカウトの安心安全な活動にとって重要な基礎である、指導者と保護者との信頼関係の構築について考えてみましょう。なぜ保護者が重要なのでしょうか？「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会に相談の中には、指導者と保護者の信頼関係の希薄さが問題を大きくしているのではないかと、と思われる事例が見受けられます。

継続登録者用の登録前研修では、「保護者へ向ける思いやり」として振り返っていただく機会を設けていますが、ここでは「保護者の気持ちと指導者の対応」に焦点を当ててみます（子どもを入団させてからの年数によって、ステージ分けをしました）。

ステージ1

入団前後から2年目

多くの方はスカウティングについて知りません。「遊ばせてもらえればそれでいい」と思っている方も多いでしょう。手伝いに来てはみたものの、何をしたらよいか分からず戸惑っている場合もあります。尋ねてみようと思っても、指導者は忙しそうだし、声をかけにくい少し遠い存在です。



対応

隊指導者だけでなく、団の指導者みんなまで保護者に声をかけてみませんか？スカウト運動の目的、原理、方法を伝え、スカウティングの素晴らしさを理解していただくためには、このステージが重要です。成長した先輩スカウトたちの話をしながら、お子さんの興味や家庭の教育方針などを伺ってみましょう。指導者から話しかけてもらえることで、「団に受け入れられている」と安心できるでしょう。

安心安全な活動のために
制服仲間を増やそう！



でも待って 保護者のホンネ

ボースカウトの制服って、カッコイイです。特に、セレモニーで張り詰めた空気の中に整列する姿は、とても素敵です。でも実際に着るには勇気がいらします。なぜでしょうか？

我が子がお世話になっていれば、何かしらお手伝いしたいと思う保護者は多いです。嬉しいことですね。でも制服を着るとなると話は別です。

「やる気があると思われて、責任の重い役務を振られる」「制服を着ているのだから、〇〇ぐらいできるよね、と言われませんか」と心配します。

また、子育て真っ最中、仕事の責任も重くなってきて、家庭と仕事以外には余裕がない年代です。

スカウト経験のない保護者が勇気を出して制服を着てくださったときは、よほどスカウティングに惚れ込んだか、素晴らしい指導者を見つけたときです。その想いをくんで、指導者としてぜひ大事に育てていただきたいと思います。

ステージ2

3年目から5年目

団の雰囲気、指導者の人柄、活動内容の充実度なども分かってきます。子どもの様子や他の習い事との比較で、続けさせる必要があるかどうか悩み始めます。デンリーダーや団委員を引き受けるなど積極的に関わってくださる方と、送迎だけになる方と二極化しがちです。



対応

活動の様子をこまめに報告したり、家庭での取り組み状況を伺ったりしながら、ニーズを把握していきましょう。相談しやすい雰囲気や「受け入れる」姿勢が、居心地の良い団を作ります。指導者や団委員を引き受けてくださる方には、自己流にならないよう、スカウトコースや団委員研修所などの研修の必要性を丁寧に説明することも大切です。

ステージ3

5年目以降

自身も指導者となるなど、積極的に関わりながら「我が子に富士スカウト章を取らせたい。ジャンボリーに行かせたい」と期待します。一方、「惰性で継続させてきたが、長くお世話になっているので、やめるとは言いにくい。部活や受験が理由であれば当たり障りないのでは」とやめていく人もいます。



対応

団によっては期待に沿えない場合もあるでしょう。「経験がない」「団の方針と違う」と線を引いてしまわず、コミッショナーに相談する、団として実現可能な方向へ舵を切ってみるなど、ニーズに対して真摯に向き合い、団として研鑽を積むことも大切ではないでしょうか？

保護者が子どもにボーイスカウトを続けさせたいと思わないのは、「スカウティングに対する理解が得られていない。または、期待した活動が行われていない」ということが理由にあると思われます。不満を口にすることなく退団していくその心の声に、耳を傾けてみませんか？

スカウト運動の主役はもちろん子どもたちですが、保護者の気持ち、指導者の対応次第で、スカウトが活動を楽しめなくなってしまうことがしばしば起きてしまいます。スカウトに安心安全な活動を提供できるよう、日ごろから意識して、保護者との信頼関係を築いていただきたいと思います。

「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会

スカウティングとSDGs

— 一緒に考えよう！ 持続可能な社会のために —

持続可能な開発目標（SDGs）は、「leave no one behind（地球上の誰一人として取り残さないこと）」を目指し、先進国と途上国が一丸となって達成すべき17の目標と具体的な取り組みである169のターゲットによって構成されています。

今号では、1年間に地球が生産する再生可能な資源の量を、私たちが生活するうえで使用する資源の量が上回ってしまう「アース・オーバーシュート・デー」から、目標12「つくる責任 つかう責任」について考えます。使える資源が底をつくとき、あなたは何かができますか。

個別の目標から考えよう

目標12

「つくる責任 つかう責任」



より少ない資源で良質かつ大量のものを得られるような生産と消費の形態が求められており、持続可能な生産と消費の形を作っていくことを目指しています。しかし、日本においても、多くの食品を廃棄するなど資源の浪費が深刻な問題となっています。

アース・オーバーシュート・デー

人間が消費する資源の量が、地球が1年に再生産できる資源の量を上回る日を「アース・オーバーシュート・デー」と呼びます。もし使いたいだけ資源を利用して生活したら、地球がいくつ必要になると思いますか。

2020年のオーバーシュート・デーは8月22日でした。これは、1年分の資源を8月中に使い切ってしまったということです。この時点で、2020年は資源が地球1.6個分必要だと判明しました。残りの4か月は、未来のために残しておくべき地球の資源0.6個分を切り崩したことになります。

私たちが便利で豊かに生活できている裏側で、かけがえのない地球の資源を消費しているという事実を知らなくてはなりません。

エコロジカル・フットプリント

私たちが社会環境にどれほど依存しているかを分かりやすく知るための「エコロジカル・フットプリント」という指標があります。これにより、食べ物や住まい、エネルギー消費や商品購入、移動手段などにより、地球何個分の資源を消費しているのかを理解することができます。

資源の消費を抑えて生活するためにはどのような行動が必要か考え、隊の仲間や家族とアイデアを共有することも大切です。私たちの未来のために、自分ができる行動を考えてみましょう。

参考 **WWFジャパン「あなたの街の暮らしは地球何個分？」(2019.7.26)**
<https://www.wwf.or.jp/activities/activity/4033.html>



岡山・倉敷第14団
(スカウトの日)

自分でできる フットプリントチェック

- 家や学校、スカウト活動などの生活の中で、無駄使いしているもの（こと）がないか考えてみましょう。
- 持続可能な社会を実現し、地球を未来に残すためにできることを組や班でまとめて、隊の中で発表してみましょう。
- みんなの発表を聞いて、気づいたことや感じたことを自分ができる行動として紙に書いて、みんなが見えるところに張っておきましょう。

※家庭で実施する場合は、組や班、隊の部分を家族に読み替えてみましょう。

■ 関連するチャレンジ章に挑戦しよう



市民：細目（2）にある、良い市民になるためのいくつかの心がまえの中で、環境について配慮できることを説明する。



自然保護：細目（1）に関連付けて、絶滅しそうな動植物について、それらを救う方法について環境の観点を含めて調べる。

■ 関連する技能章に挑戦しよう



公民章：細目（2）地球環境問題について1つ取り上げ、自分には何ができるか説明する。



環境保護章：細目（6）に関連付けて、「持続可能な開発」について、国際的な取り組み・日本としての取り組みについて調べ報告する。

スカウティングとSDGsでは、個別の目標からさまざまな取り組みを紹介してきました。2021年度は、日本連盟としても取り組みを開始する世界共通の環境教育プログラム「Earth Tribe（アース・トライブ）」とSDGsをテーマに、引き続き私たちにできることを考えていきましょう。

ローカルホットライン

Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- ……団
- ☒……地区
- ……都道府県連盟
- ◇……その他



福島 □ 団恒例のナイトハイク

いわき第3団 団委員長 高崎 友延

2020年12月5日、いわき第3団恒例のナイトハイクを実施しました。部門ごとに、それぞれのコースを歩き、スカウト全員が完歩しました。

カブ隊のコース上にあった21世紀の森公園では、「光の森プロジェクト冬季イルミネーション2020」が開催されており、イルミネーションの中を歩く際には歓声が沸いてきました。

参加スカウトの保護者から、「ナイトハイクは子どもたちも互いに励まし合いながら完歩し、成長と力強さを感じました」との感想が届きました。



静岡 □ 命を守る防潮森をみんなで守ろう

浜松第15団 団委員長 佐藤 誠

浜松第15団は、2016年から防潮堤の植樹に参加しており、防潮堤竣工（2020年3月）以降は団関係者が植樹した区域に【そなえの森】の看板を設置して育樹を行っています。

「防潮森」は、遠州灘海岸を津波から守り、環境、防災、教育に貢献できる循環型森づくりを実行する事業で、アカウミガメの産卵地域でもあります。当団では隊集会として「子ガメ観察会」にも参加し、

自然に触れる活動を行っています。

今回、「海岸林をまもろう」をテーマに「海岸林、防潮堤林の保全活動 海岸林をまもろう」という活動を行いました。

「3つの密」の回避を基本に、参加者の健康管理や活動前の体温管理、活動時の備品類準備に加えて、集合時の隊形などに配慮し、「行うことによって学ぶ」を実践して育樹作業を行いました。

岐阜

□ スポ GOMI 甲子園でオリジナルアイテム賞を受賞

岐阜第8団 団委員長 松岡 弘道

岐阜第8団ベンチャー隊は、2020年11月22日に開催された「スポ GOMI 甲子園全国大会」決勝大会に、岐阜県代表として参加しました。

電卓とラジオを組み合わせた「金属探知機」を駆使してゴミを収集。「オリジナルアイテム賞」を獲得しました。

朝日中高生新聞（2020.12.20）

高校生ごみ拾い日本一を目指せ！ スポGOMI甲子園 決勝大会

2020年11月22日(日) 会場：東京都墨田区・すみだリバーサイド

昨年同様、今年も「スポGOMI甲子園決勝大会」が開催されました。海洋ごみ問題への気付きをテーマに、25都道府県の高校生を対象に9～11月に各地で開催された地区大会の優勝チームが一堂に集い、ごみ拾い高校生日本一を競います。このイベントは、次世代へ海を引き継ぐために、海と人を介して人と人がつながる日本財団「海と日本プロジェクト」の一環です。

スポGOMI甲子園2020ホームページ www.spogomi.or.jp/zenkoku2020

リモート会場と一緒に記念撮影

ごみ拾いのエリアは決まらなくていい、私有地に入らない、走らない、チームでまとまって行動する、粗大ごみは拾わないなど安全と公平性を守るルールの厳守が求められます。岐阜県代表の「ポレイスカウト岐阜第8団ベンチャー隊」は、「去年は地区予選敗退だったのが今年は決勝大会に出場できてうれしい。ポイントの高いベクトルとタバコの吸い殻を狙って集めています。石川県代表の「ホ又ピキム」金沢高等学校は、塩ビのパイプを使ったキヤスター付きのごみ収集カートを製作。洗濯バ

ごみ拾いのエリアは決まらなくていい、私有地に入らない、走らない、チームでまとまって行動する、粗大ごみは拾わないなど安全と公平性を守るルールの厳守が求められます。岐阜県代表の「ポレイスカウト岐阜第8団ベンチャー隊」は、「去年は地区予選敗退だったのが今年は決勝大会に出場できてうれしい。ポイントの高いベクトルとタバコの吸い殻を狙って集めています。石川県代表の「ホ又ピキム」金沢高等学校は、塩ビのパイプを使ったキヤスター付きのごみ収集カートを製作。洗濯バ

ごみ拾いが、海の未来を変える

制限時間近くになって、会場前に残ったチームが帰ってきました。一見、街の中にごみは少ないように見えたのですが、集まってくるごみの量に驚きました。

ごみ拾いが、海の未来を変える

制限時間近くになって、会場前に残ったチームが帰ってきました。一見、街の中にごみは少ないように見えたのですが、集まってくるごみの量に驚きました。

ごみ拾いが、海の未来を変える

制限時間近くになって、会場前に残ったチームが帰ってきました。一見、街の中にごみは少ないように見えたのですが、集まってくるごみの量に驚きました。

ごみ拾いが、海の未来を変える

制限時間近くになって、会場前に残ったチームが帰ってきました。一見、街の中にごみは少ないように見えたのですが、集まってくるごみの量に驚きました。

東京

上級救命救急講習会と菊スカウト章伝達式

町田地区 地区委員長 藤村 満

町田地区では、地域社会連携の一環として消防署や市役所等と連携し、2020年11月に上級救命救急講習会を実施しました。その際、菊スカウト章伝達式も実施し、その様子を「コロナ禍であっても そなえよつねに」の見出しで、地元の武相新聞に掲載いただきました。

掲載いただいた武相新聞社は、町田市内で創刊し、地域社会の厚い信頼を得ている地元の新聞社です。ワクワク自然体験遊びの案内の際もQRコード付きで記事を掲載いただき、参加者の応募にも大きな弾みをつけていただきました。今後も、折に触れて町田市の地域社会との連携や広報のため、ニュースリリース等を行いながら、より一層の連携を深めていきたいと思ひます。

武相新聞(2021.1.1)



心肺蘇生法を学ぶスカウトたち



藤村地区委員長から菊章を授与される前田さん(チーフリングも菊スカウトのあかし)

ボーイスカウト(BS)東京連盟町田地区(井上正行協議会長、藤村満地区委員長)はこのほど、町田消防署で「上級救命講習会」を受講、コロナ禍にあってもBSのモットー「そなえよつねに」を実践した。また、BS中学生部副最高章の「菊章」授与式も行い、その栄誉をたたえた。

参加したのは、小学校6年生以上のスカウトと指導者の計約20人。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、3密回避などを取り入れて、最少人数で実施された。上級救命は、計8時間にも及ぶ本格的な講習で、学んだ範囲も応急手当や窒息の異物除去、傷病者管理、搬送、心肺蘇生など多岐に及ぶ。心肺蘇生法の講義は、AED(自動体外式除細動器)の使い方が主軸。スカウトたちは、消防署員の指導で、使い始める前の周囲への声掛けから、救急隊が到着するまでの流れを確認。大人や子どもなど、体の大きさに合わせた使い方が必要なことも理解するなか、高度な技術を1日かけて学んだ。

一方BSでは、技能章の一つに「急救章」(上級救命)を定めている。BSの中でも重要な資格で、高校生部門の進歩進級章「単(ハヤブサ)章」の必修科目にもなっており、BSモットーの

BS町田地区

「コロナ禍にあってもそなえよつねに」

前田さんに「菊章」授与

「そなえよつねに」、同行「スローガン」の「目目の善行」の源ともいえる資格だ。家族や友人、またBSと地域をつなぐ地域社会連携・地域社会奉仕活動のための技能としてスカウトたちの関心度も高いという。

消防署の講習が終わると、BSが独自に定めている救急法の補足勉強会があり、救命に対する理解を一層深めた。藤村地区委員長からは「繰り返す、繰り返す学び」で、いかなる時にも冷静な対応ができる。事故などの際は、分刻みの救命率が低下するので、率先して当たってほしい」と熱望した。

閉講後、BSの中学生部門の最高進級章「菊章」(菊スカウト)が、町田20団の前田(お)うえん、中学3年生(さ)に授与された。小学校5年生の時にBSに入り熱心に活動、救命講習も3回目の受講だ。

前田さんは「キャンプが大好き。課題をクリアしていくうちに自然と技能が伸び、菊章にも手が届いた。学んだことを役立てるのはBSの員として当たり前のこと」とりりしく述べた。

ボーイスカウトがメッセージボード寄贈 名古屋記念病院へ

新型コロナウイルスの対応に尽力する医療従事者に感謝の気持ちを伝えるようと10月26日、ボーイスカウト名古屋第58団の団員3人と子どもたち4人が名古屋記念病院Ⅱ平針Ⅱを訪れ、「ありがとう」「お仕事頑張ってください」など約50のメッセージが書かれたボードを贈りました。

発案したのは同ローパー隊の金沢佳弥さん(24)。金沢さんはこの夏、患者として名古屋記念病院に通院していた時、懸命に働く医療従事者の方々に何かできることはないかと考え、子どもたちと一緒にハート型のカードにメッセージを書き、ボードを作ったと言います。

最新少の杉本輝駿君(1)はまだ小1)は「『コロナをやっつけて』と書きました」と笑顔。代表としてメッセージボードを贈呈した酒井輝大君(春木台小6)は「みんなで心を込めてメッセージを書かせていただきました。どうぞお受け取りください」と、渡しました。緊張しましたが感謝、感激した職員が「ありがとうございます」と謝辞を述べました。

院長の前でメッセージボードを持つボーイスカウト名古屋第58団の皆さん

愛知 医療従事者に感謝のメッセージ

名古屋第58団 ローパー隊長 石坂 純一

名古屋第58団では、ローパスカウト発案のもと、新型コロナ等の対応に尽力して下さっている医療従事者の方へ感謝を伝えるメッセージボードを作成しました。2020年10月26日、代表スカウトが名古屋記念病院を訪問してボードを贈呈。医療従事者の皆さんに感謝の気持ちを伝えました。

タウンニュースてんばく(2020.11.14)

企業や団体とのタイアップによるコラボレーションバッジ

カブスカウト対象

“新チャレンジ章”

2018年から取り組みを開始したカブスカウト対象「新チャレンジ章」は、これまでに延べ2,500隊30,000人のスカウトが取り組んでいます。今号では、2020年度に新たに提供した2種類のプログラムに挑戦したスカウトや指導者の声と、2021年度の取り組みについてご紹介します。



兵庫・西宮第3団「野外でのアイスクリーム作り」

2021年度に向けたスケジュール

現在、新たなプログラムの準備を進めています。これまでに展開してきたプログラムも含め、日本連盟 Web サイトに詳細情報を掲載しています。新チャレンジ章の取り組みも交えながら、2021年度もスカウトに新たな挑戦の機会を提供しましょう。

バッジ申込	2月15日(月)～3月14日(日)
申込結果通知	3月22日(月)～3月25日(木)
バッジ送付	4月下旬から順次発送

2020年度の取り組み報告



STEM 博士

日常生活には不思議なことがあふれています。色々なものを発見したり、なぜ、そうなるのか考えてみたりしながら、楽しく活動しましょう。

展開例

- STEM をお題にスカウトが4コマ漫画を作成しました。STEMに興味をもつことにつながり、太陽光を使った実験を楽しく行いました。
- 糸電話をきっかけにSTEMの意味や目的を伝え、「燃える」をテーマに小枝集めや燃焼実験など、複数回の活動を行いました。
- 地球の自転と公転、日食や月食、海の満ち引きについて、野球ボールを用いて考える機会としました。

スカウトの声

- 不思議だなと思ったことは、答えを知る前に答えを考えてみる。
- 未来では石油に頼らず、自然の力で車を動かせるようにしたい。



千葉・匝瑳第1団
「スライム作り」

指導者の声

- 実験は隊長が用意したものだが、自ら実験を発展させていた子どもたちの発想力に驚かされた。
- 現在使っているエネルギーと未来のエネルギーについて話すことができたので良かった。
- 理解してもらえるよう考え、ドラえもののポケットをイメージしながら集会を展開した。



アウトドアチャレンジャー

「野遊び」をテーマに、野外にある色々な道具や自分の身体を使ってどんな遊びができるでしょうか。友達と相談し、力を合わせ楽しい遊びを考えてください。

展開例

- 対面での活動自粛期間を活用して、「おうちで一泊キャンプ」と題した訓練をしました。
- スカウトが松ぼっくりを使った玉入れゲームを考案してくれました。たくさん入るように何回も挑戦していました。
- ひとつのゲームについて、昼でも夜でもできるルールを組ごとに考えてもらい、組ごとに競争しました。

スカウトの声

- キャンプ場でなくても、工夫すればおうちでも簡単にキャンプはできる。
- 普段は気がつかないが、野外にはおもちゃにして遊ぶことができる楽しい物があることがわかった。

指導者の声

- 久々の野外で最初は虫など怖がっていたスカウトも、次第に慣れていきました。
- 多くのスカウトが3つ以上の遊びを考案できていたのには驚きました。
- 思いつきで遊ぶのではなく、危険について考えてから遊ぶ姿は頼もしい。



神奈川・横浜第95団
「秘密基地づくり」

2020年度に新チャレンジ章に取り組んだ皆さんに、活動報告をお願いしています。Web フォームから簡単に行えますので、年度内に取り組みを終えてフォームよりご報告ください。

今後の新たな情報やプログラムのお申し込みは、日本連盟 Web サイトをご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/challenge-badge/>

スカウティングと信仰

-コロナ禍における宗教章取得に向けて-

新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）感染拡大から1年が経ち、この間、スカウト活動においてもさまざまな対応が求められ、新しい形の活動が展開されています。

本誌では、Scouting Never Stops! のキーワードのもと、これまでに進歩に関する特別措置などを紹介してきましたが、今号では、真宗大谷派による宗教章（仏教章）取得の機会減少を踏まえた展開をご紹介しますとともに、スカウティングと信仰の関わりを改めて振り返ってみましょう。

スカウティングと信仰

1924年にコペンハーゲンで開催された第3回ボーイスカウト国際会議（現 世界スカウト会議）の決議文に、以下の記述があります。

—スカウト運動は、各人の宗教的信仰を弱める傾向のものではなく、逆に強めるものである。スカウトの「おきて」は、スカウトが誠実かつ真剣に、それぞれの宗教を実践することを求めており……（以下略）—

スカウト運動はさまざまな信条を基盤として世界中で展開され、この基盤の上に「おきて」の実践をはじめとするさまざまな活動があり、個人が人格を高め、より良き社会人としての価値観を醸成していきます。活動において、信仰を奨励する方法はさまざまです。いくつか振り返ってみましょう。

1. 「おきて」の実践

スカウトの「おきて」は、人が生きていくうえで「徳」を得るものであり、世界中のどの宗教にも共通する普遍性の高いものです。難しいことではなく、気持ちを込めて「ありがとう」「いただきます」「ごちそうさま」などと言葉にすることも「おきて」の実践になります。

2. 日日の善行

スカウトのスローガンである「日日の善行」は、天地、神仏の恵みに対する恩返しであり、スカウトのつとめとして行うものです。善いこととは何かを考え、小さなことでも日々継続して行いましょう。

3. 信仰奨励章と宗教章

ボーイスカウト部門から挑戦できる「信仰奨励章」と「宗教章」は、スカウト活動において、スカウトがより明確な信仰をもつことを目指すためのものです。宗教章は「神道章」「仏教章」「キリスト教章」「金光教章」「世界救世教章」「天理教章」の6種類あります（取得にあたっては、各教宗派によって要件や申請方法が異なります）。



真宗大谷派による 仏教章取得特別基準

真宗大谷派では、例年3月に実施している大谷スカウト名誉奉仕訓練の開催を新型コロナの影響により中止します。昨年度に引き続いて2年連続の中止を受け、仏教章の取得が困難になることから、WEBを活用した仏教章講習会を開催します。

真宗大谷派では、コロナ禍における仏教章取得の特例措置として、特別基準を定めます。

申請先: 大谷スカウト連合協議会 事務局 Tel: 075-354-3440 / Mail: oyc@higashihonganji.or.jp

◎下記の内容を受講の上、申請をすること。

事前配信による講義

- ① 釈尊の伝記と教えについて記述すること
- ② 宗祖の伝記について記述すること
- ③ 礼拝の作法を知り、実際に行えること
合掌の仕方/念珠の持ち方/焼香の仕方
- ④ お内仏の荘厳法を知り、実際に行えること

ZOOM中継による講義

- ⑤ 真宗の教えについて記述すること
- ⑥ 報恩感謝の生活を実践し、地域社会および寺院のために奉仕すること

後日課題

- ⑦ レポート作成（仏教章取得に挑戦して感じたことやこれからのスカウト活動に向けての考えを記述する）

コロナ禍においても「より良き社会人」の育成を目指し、スカウトが明確な信仰をもてるように引き続き、支援していきましょう。

今こそ、笑顔で心健やかに

信仰奨励委員会 八巻 知子

世界中が新型コロナウイルス感染症による危機に直面し、一人ひとりができる精一杯の感染防止対策をしながら毎日過ごしています。それでもウイルスの猛威は衰えず、収束の兆しは見えません。

そのような状況でも、スカウト活動はストップすることなく、日々動いています。友だちと遊べない、会いたい人に会えない、行きたいところに行けない、当たり前でできていたことができなくなる等、生活が一変し、不安と戸惑いの中で家族と過ごす時間が増えたことで家族の絆を今一度見つめることができたことは、新たな喜びではないでしょうか。

コロナ禍でも少し落ち着いているときに、屋外でできる集会を実施しましたが、その時のスカウトたちの笑顔、それを微笑ましく見つめている保護者の表情が格別で、私たち指導者も大きなパワーをいただきました。「おうちスカウティング」を進めたい中で改めてスカウトと指導者の絆、保護者と指導者の絆、スカウトと保護者の親子としての絆の大切さを実感することができたことも事実です。

おきての一つに「スカウトは快活である」があります。（スカウトは、明るく、朗らかに、いつも笑顔でいます。不平不満を言わず、元気よく、進んでものごとを行います。）

厳しい世の中ではありますが、私たちは今こそ「ちかい」と「おきて」の実践に立ち返り、今できることは何？ 今だからこそできることは？ を絶えず自問自答し、スカウトたちの笑顔を守っていかなければならないと思います。

B-Pは「できるだけ多く笑いたまえ……それは健康によい。だから笑えることがあったら、いつでも笑い続けたまえ、できたらほかの人たちも笑わせたまえ。その人たちの健康にもよいことだから」とおっしゃっています。

「笑顔に、まさるものはなし」という諺があります。強靱な体をつくり、皆で支え合いながら、笑顔で心健やかに今のこの時を乗り越えていきましょう。

維持会員 (敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の皆さまです。

ご支援ありがとうございます 2020年 11~12月度

【北海道】 喜多 英司 三国 久介 高野 ひとみ BS北見2 【青森】 高瀬 厚太郎 川島 明 照井 大観 葛西 俊人 今 淳 高瀬 晃 【宮城】 和田 剛和 【秋田】 乳井 豊彦 佐々木 友保 設計事務所 【茨城】 三浦 勉 吉永 行輝 井澤 敏雄 西嶋 由貴子 津久井 一茂 白石 陽一 【栃木】 齊藤 幸男 鴨志田 博 清水 賢次 高松 富雄 渡辺 保 【埼玉】 鈴木 泰二郎 森 正晴 浅見 弘明 田中 光之 斎藤 岳博 市ノ川 武志 山本 照恵 BS入間2	BSさいたま219 BS久喜22 BS鴻巣4 BS鴻巣2 BS伊奈1青成会 BSさいたま204 育成会 【千葉】 谷崎 久志 栄 千鶴子 佐藤 計廣 片寄 朗 鶴澤 弘明 小野寺 克文 脇本 直哉 黒木 晃 堀田 清乃 小西 章夫 BS千葉27 (株)メイクホームズ 【神奈川】 高野 新平 大村 貞雄 須藤 守之 瀨戸 清規 菅原 信浩 多田 孝元 BS横浜94 BS海老名3 【山梨】 西野 淳一 松本 淳一郎 三井 啓一郎 【東京】 松原 典子 伊藤 登 小町 國市 平山 充 渡邊 博隆 五十畑 康則 中島 静香 真山 明夫	野村 和男 内田 健三 岩崎 博 村井 嘉一郎 増井 光弘 唐橋 聡 花淵 修一 松浦 克昌 佐藤 成文 吉田 良 安部 徹 神田 幸博 三代川 守昭 指田 高弘 木村 良成 奥村 綱大 田村 芳雄 飯盛 安隆 道上 好教 當麻 敏道 平方 久生 古川 俊 大原 通精 小田 博幸 熊坂 敏彦 星名 維理 諏訪 尚樹 稲吉 尚樹 村越 恒三郎 高下 隆昭 油井 正仁 和田 正仁 BS三鷹1 BS東大和2 BS練馬3 BS練馬15 BS東村山6 BS練馬地区 BSさくら地区
---	---	---

(株)スール ル 容ひかる 【石川】 濱本 茂樹 村山 和光 【福井】 陶山 治男 辻裏 宏明 数内 正夫 BS福井7育成会 【長野】 犬飼 康元 木下 昭男 【岐阜】 木村 芳郎 駒田 誠雄 大谷 俊昭 水谷 憲章 古家 恭子 古家 昌幸 渡辺 重幸 廣瀬 拓運 武井 靖夫 【静岡】 大川 始 仲田 照児 田村 誠 北村 浩孝 丸山 秀樹 宮崎 貴人 芹澤 秀樹 BS静岡10育成会 BS清水地区 BS磐田地区 【愛知】 足立 武彦 渡辺 勝彦 村井 耕司 中村 治一 山盛 智宏 羽根島 光則 沼田 雅憲 奥谷 昌寿 奥村 昌惠 中谷 洋	五島 道夫 内藤 吉文 志水 幹一 中村 友一 鈴木 利幸 川上 幸朗 三浦 浩嗣 三浦 功一郎 藤高 一郎 足立 英和 入谷 昭則 富田 泰博 瀧本 泰博 BS名古屋121 BS岡崎8 BS岡崎13 BS瀬戸6 BS名古屋128 BS西尾10育成会 岡谷不動産(株) 【三重】 前田 隆司 山岸 廣二 柴田 伸彦 原口 耕一 澤内 秀仁 喜田 久仁 田中 伸二 山下 さとし 中世古 雄治 谷口 仙二 (株)服部工務店 【滋賀】 大塚 潔 【京都】 林 俊次 赤瀬 由貴 三木 一暁 【兵庫】 中田 淳子 荒西 完治 河原 淳 牛塚 育雄 寄田 昌宏 菅本 龍二 橋本 龍二 木村 伸幸	中田 和葉 丸尾 洋一 藤田 智之 岸上 敏之 岡本 文昭 植田 武 【奈良】 永広 逸子 宮脇 誠 唐橋 聡 坂口 幹基 坂口 勝基 サンディスト(株) 【和歌山】 嶋田 士郎 野村 和生 野村 義夫 阪井 信也 山口 昇孝 伊藤 真輝 平井 孝 (株)遍照尊院 【大阪】 樽谷 進 松下 修造 椿本 靖彦 高見 篤志 中野 正 BS大阪27育成会 【鳥取】 瀬尾 穰明 松田 一三 箕 弘 【島根】 河角 隆治 (株)アイエム コーポレーション 【岡山】 杉本 興一 植田 充男 【広島】 山口 昌一 羽原文 文男 BS広島県連盟 スカウトクラブ BS広島県連盟	【山口】 田子 薫 上村 浩司 【徳島】 広瀬 民義 【香川】 嶋田 鈴枝 今岡 扶彰 岩井 敏恭 【高知】 立石 巖 【福岡】 堤 寛 阿部 智起 結城 利章 郡島 三暁 松尾 博史 松田 英興	BS北九州14 BS福岡20育成会 西日本美装興業(株) (株)フジグリーン 【佐賀】 原口 誠 石井 二二夫 【長崎】 菊池 文喬 藤田 孝 【大分】 戸高 有基 内田 日出男 【鹿児島】 林 洋市 【沖縄】 古屋 政美	城間 剛 【日本】 松原 俊文 奥島 孝康 廣瀬 隆雄 廣行 影彰 武守 孝人 松木 美歌 茂木 達郎 大浦 秀樹 西村 稔 数長 藤代 戸高 有基 BS広島県連盟 パシフィック ヴィジョン(株)
--	--	---	--	--	--

マンスリーサポート維持会員
毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。
<https://www.scout.or.jp/support/04/>
11~12月に入会または1年継続された方々です。

【北海道】 前谷 慎太郎 【宮城】 松岡 大介 【埼玉】 脇田 大輔 時計 一利 【東京】 井村 眞一 小林 司 比地原 草平 深見 泰子 【富山】 畠山 遵	【愛知】 河村 武人 【京都】 谷口 平八郎 【奈良】 村田 禎章 龍本 高志 八頭司 昭久 【大阪】 中井 宏 【山口】 岡寺 信政 【福岡】 武井 靖行	荒木 秀樹 【大分】 戸高 有基 大浦 秀樹 磯山 友幸 宇都 康平 弓場 智仁
---	---	---

広告
キャンプ場ガイド

「キャンプでの経験こそが、スカウトの訓練であり、スカウトの技術も魂もキャンプで養われることは自明の理であるといっても過言ではない」(奥島総長『スカウティング2020年1月号』)

キャンプを経験しないスカウトはいないでしょう。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、以前のようにキャンプができるようになるまでには、もう少し時間がかかりそうです。

再び、みんなでキャンプができるようになる日まで、しっかり準備をしていきましょう。



■収容人数/バンガロー・キャビン250人[35棟]、民宿・合宿所100人、テント[10張] ■営業期間/通年 ■アクセス/中央自動車道相模湖ICより4km、JR中央線藤野駅より送迎あり

相模湖に近く陣馬山生藤山の麓に位置する緑に囲まれたキャンプ場です。カブパック(1泊3食・税込) 小人 ¥6,000、大人 ¥6,800 / 寝具お持込みの場合(税込) 小人 ¥5,500、大人 ¥6,300 *バンガロー・寝具(シーツ付)・入浴・食事付 *3食の中で一部自炊やカブ弁当も料金内で可能です。



■収容人数/野営場6,000坪 ■営業期間/通年 ■アクセス/磐越自動車道猪苗代・磐梯高原ICよりクルマで20分。JR猪苗代駅より東都バスで五色沼入口下車、徒歩7分

貴団の皆様には、コロナ禍にも負けず力強く活動されておられる事と存じます。みちのくも、今まで以上に快適なキャンプ場とアットホームな宿作りに励み、皆様のお越しをお待ちしております。笑顔での再会を楽しみに。

SCOUTING

デジタル配信しています！



機関誌『スカウティング』のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。

デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。

ぜひご活用ください。

通常はIDとPASSを入力していただいておりますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動への臨時措置としてパスワードを解除します。ぜひスカウトや保護者の皆さまにもご案内ください。自宅におけるスカウト活動などにもお役立ていただければ幸いです。



URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>
ID: scouting-magazine
PASS: sonaeyotuneni

◎ 訃報

日本連盟 常務理事 **山内 直元** なほはる

日本連盟常務理事としてご尽力いただいた山内直元氏(東京連盟理事長)が令和3年1月29日、逝去されました(享年69)。

謹んでご冥福をお祈りいたします。



【県連盟および日本連盟奉仕歴】東京連盟 コミッショナー(H17~)、東京連盟 理事(H23~)、東京連盟 副理事長(H26~)、東京連盟 理事長(H28年~)、日本連盟 評議員(H24年~)、日本連盟 理事・指導者養成委員長(H28年~)、日本連盟 常務理事(H30年~)

【日本連盟受章歴】かっこう章(H16年)、たか章(H26年)、スカウティング褒章(H27年)

【外部受章歴】文部科学大臣社会教育功労者表彰(H29年)

山内直元さんを偲んで

去る1月29日、東京連盟理事長であり、日本連盟常務理事という日本のスカウト運動における重責を担っておられた山内直元さんが亡くなりました。

1月30日に県連盟代表者会議がスカウト会館で開催されましたが、山内さんはご欠席ということでした。会議終了後、木村事務局長から山内さんが亡くなられたことを聞いて、ただただ驚き「え!……何で?」という言葉しか出ませんでした。

昨年何回かの日本連盟の会議では、体調がすこし芳しくないようなご様子でした。

あのお酒の大好きな人が、3年前から禁酒をしていると言っていました。年齢のことも健康に配慮しておられるのかも思っていました。そのような心配をしていた矢先に、この訃報に接することになってしまったのです。

山内さんは、東京連盟では私の後の東京連盟コミッショナーに就任され、その後は副理事長として、ともに責務を遂行しました。その間、日本連盟では評議員、指導者養成委員長1期を務められ、常務理事に就任されてから3年が過ぎています。私は日本連盟プログラム委員長、東京連盟副連盟長、日本連盟コミッショナーと、同じ時期に東京連盟と日本連盟でスカウト運動の教育と運営に関わり、山内さんとは知り合ってから約20年来のスカウト活動を共有して、お互いに日本のスカウト運動に情熱を捧げた盟友でもあります。

山内さん、安らかに眠りください。今まで、ありがとうございました。ご冥福をお祈り申し上げます。

日本連盟コミッショナー 福嶋 正己

2021
No.743
5

SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、2021年5月1日発行

特集

2021(令和3)年度事業計画

日本連盟創立100周年まで、あと1年。記念すべき年に向けた2021年度の取り組みをご紹介します。

なんでも投稿先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』投稿係

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 電話 03-6913-6262(代表) FAX 03-6913-6263 Eメール scouting@scout.or.jp

投稿規定/本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があり、また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんの方の投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟『スカウティング』2021年3月号 No.742 令和3年3月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>

『スカウティング』は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月~8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封にて送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月~翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号~9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合は有償でお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2021 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部(代表 TEL:03-6913-6262)までご連絡ください。

■お詫びと訂正

下記のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

『スカウティング』(2020.1月号[No.741])15頁 富士スカウト章受章スカウト 【東京】高倉美央 →【東京】高倉未央

繰り出そう。「NEW STANDARD」たちと。



SCOUTING 2021/3

742

スカウトイング
発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
電話 03 (6913) 6262 (代)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
電話 03 (6913) 6262 (代)

定価 ¥200 (税込)
郵便振替 00130-1-56119
口座名義 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

「SCOUT GEAR」始動。

(株)モンベルとボーイスカウトが共同開発した商品が発売になります。モンベルの最新技術とボーイスカウトならではの要素が組み合わせ、徹底した耐水性と操作性、そして思いがけない拡張性は、まさに活動の「NEW STANDARD」。繰り出そう。野山に街にそして活動に。



【写真左】 NEW STANDARD “PAC” スカウトギア™メドーパック22

品番: 83550 価格: ¥13,200 (税込)
容量: 本体20L、トップリッド2L
重量: 605g
寸法: H60×W30×D20 背面寸法48cm
発売: 2021年4月(予定)

【写真右】 街も、僕らのフィールドだ スカウトギア™メドーショルダー12

品番: 83553 価格: ¥9,350 (税込)
容量: 本体12L 重量: 430g
寸法: H30×W41×D13cm
発売: 2021年4月(予定)



スカウトハンドブック アドバンス

お待ちしております、ベンチャースカウト部門のハンドブック「スカウトハンドブック アドバンス」。いよいよ発売となります。ぜひお買い求めください。

品番: 62340 品名: スカウトハンドブック アドバンス 価格: ¥1,100 (税込) A5判 208頁
発売: 2021年3月(予定)

水筒やヘッドライトなど活動のマストアイテムにも100周年記念グッズが、この春も続々登場! 乞うご期待!



SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan



各商品の発売情報や詳細は、ホームページや各種SNS、ONLINE SCOUT SHOPのメールマガジンでお知らせしていきますので、ご確認ください。

